

— 経営理念 —

ともに挑み ともに繋ぐ

常にお客様目線で上質な価値を創出する

— 行動指針 —

私たちは、全ての仲間と手を取り合い、
創出する喜びを分かち合います。

私たちは、失敗を恐れず、
常にチャレンジャーであり続けます。

私たちは、お客様と誠実に向き合い、
信頼される存在を目指します。

私たちは、こだわりと思いやりをもって、
心地良さの実現を追求します。

私たちは、法とその精神を守り、
安心・安全なものづくりを約束します。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月に開催

基準日	定時株主総会の議決権	3月31日
	期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日

公告方法 電子公告
 公告掲載URL <http://www.fkkasei.co.jp>
 ※事故その他やむを得ない事由によって電子公告
 できない場合は、日本経済新聞

単元株式数 100株

株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 0120-782-031 (フリーダイヤル)



Business Report

第106期 報告書

平成28年4月1日～平成29年3月31日



To Our Shareholders

株主の皆さまへ

株主の皆さまには格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。当社第106期（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）の営業概況等につきご報告申しあげます。

平成29年6月

当連結会計年度におけるわが国の経済は、個人消費が伸び悩んだものの、輸出関連を中心に企業収益に持ち直しの動きが見られ、雇用情勢にも改善が見られるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、海外におきましては、英国のEU離脱問題や米国における新政権の政策動向などによる為替相場や株式市場への影響懸念など、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境の下、当連結会計年度の売上高は627億8千万円（前連結会計年度比14.9%減）となり、営業利益は30億7千7百万円（同2.2%増）、経常利益は33億4千8百万円（同12.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は24億円（同35.9%増）となりました。

当社グループにおきましては、コーティング事業におけるグローバルな事業展開を加速させ、収益の確保に取り組んでおります。現在、当社グループでは「藤倉化成グローバルネットワーク」として、米国、欧州、ASEAN及び中国において現地法人を設立し、製品の供給体制網の整備を行っております。本年3月には、更なる生産体制の強化を図るため、ASEAN地域の中心的拠点であるフジクラカセタイランド社において、新工場の稼働を開始いたしました。また、インドにおきましても現地法人において自社工場を建設する計画を進めており、新たな製品供給体制の整備に努めてまいります。世界中に同一で高品質な製品を供給できる体制を整備し、お客様のご要望と信頼にお応えしてまいります。

当社といたしましては、生産効率の向上や固定費削減などのコスト低減活動を行うとともに、技術開発に引き続き注力することによって事業領域の拡大を図り、持続的な成長と確実な収益基盤の確保に努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申しあげます。

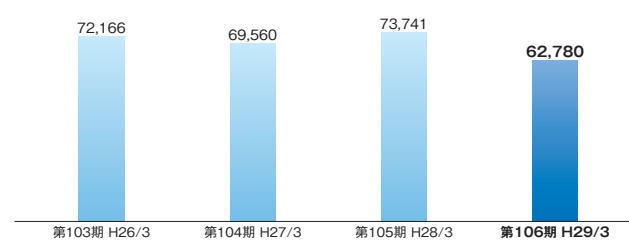
代表取締役社長 **加藤 大輔**

Financial Highlights

連結財務ハイライト

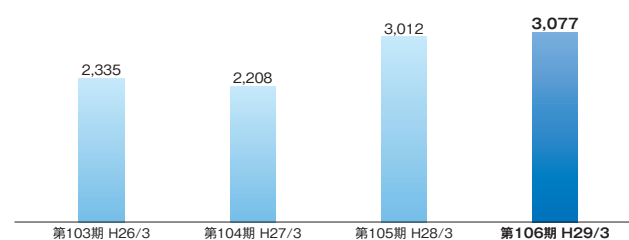
売上高

（単位：百万円）



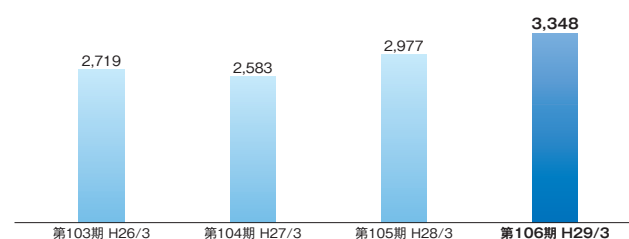
営業利益

（単位：百万円）



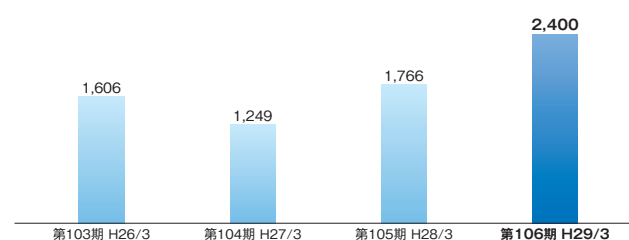
経常利益

（単位：百万円）



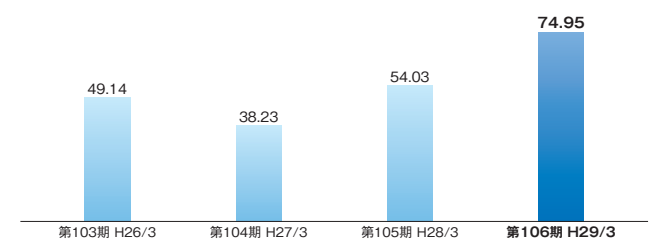
親会社株主に帰属する当期純利益

（単位：百万円）



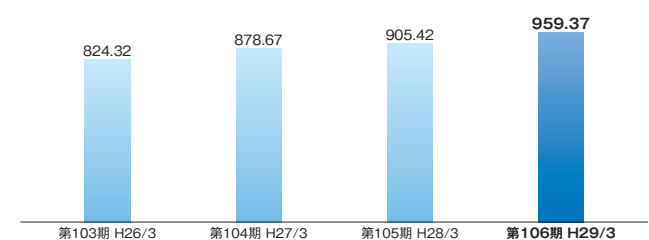
1株当たり当期純利益

（単位：円）



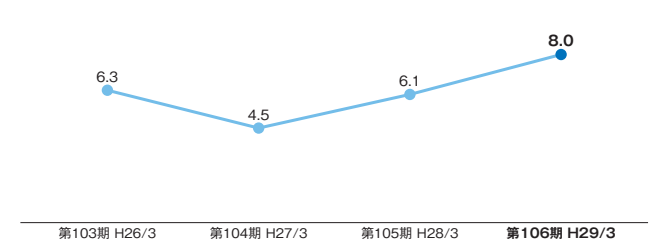
1株当たり純資産額

（単位：円）



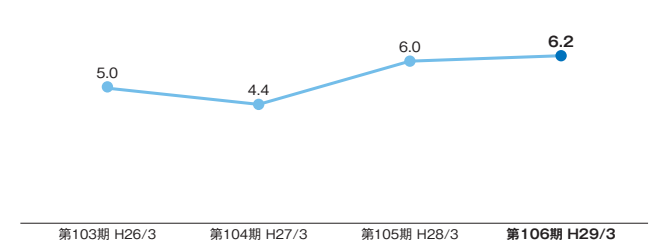
自己資本利益率（ROE）

（単位：％）



総資産事業利益率（ROA）

（単位：％）



Segment Review

(単位：百万円)

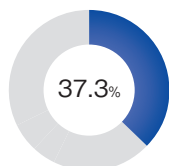
コーティング事業



主要分野

自動車内装分野、自動車外装分野、
自動車電装部品分野、
容器関連分野、携帯電話分野、
家電分野、ホビー分野、
農業資材分野

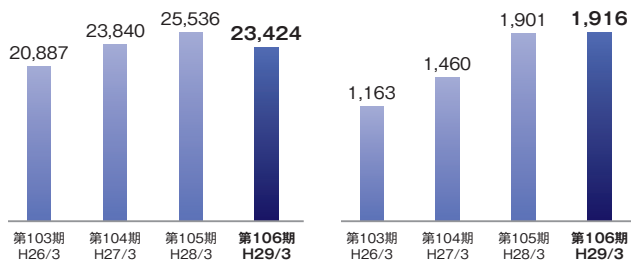
プラスチック用コーティング材（『レクラック』・『フジハード』など）を取扱うコーティング部門におきましては、主力の自動車向け市場においては、国内市場では、生産台数が増加したことなどにより需要が堅調に推移いたしました。海外市場においては、為替相場が円高に推移し、米国子会社であるレッドスポット社における業績が影響を受けるなど、売上高は前年度を下回りました。



売上高構成比

売上高
234億2千4百万円
(前連結会計年度比8.3%減)

セグメント利益
19億1千6百万円
(前連結会計年度比0.8%増)



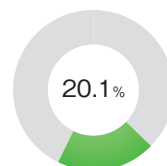
塗料事業



主要分野

外装建材分野、
内装建材分野、
エクステリア材分野、
住宅設備分野

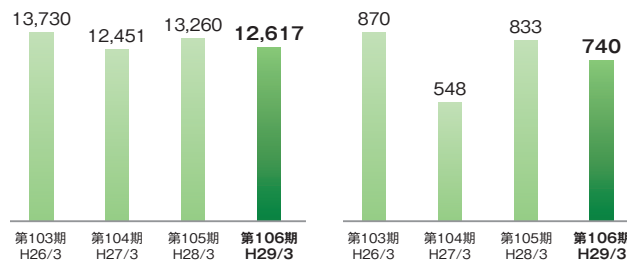
建築用塗料を取扱う塗料部門におきましては、新築向け市場及びリフォーム向け市場とも、工事を伴う施工棟数が前年度に比べ伸び悩んだことなどにより、売上高は減少いたしました。



売上高構成比

売上高
126億1千7百万円
(前連結会計年度比4.8%減)

セグメント利益
7億4千万円
(前連結会計年度比11.2%減)



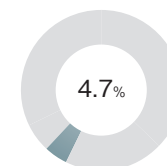
電子材料事業



主要分野

通信機器分野、
表示体分野、
家電分野、
車載用電子機器分野、
OA機器分野

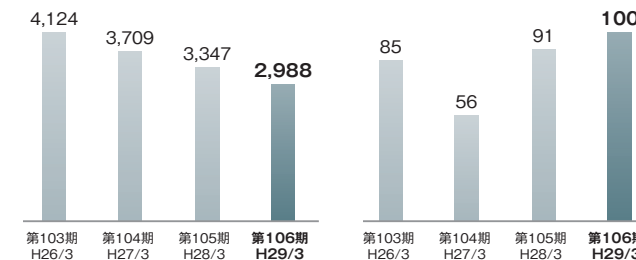
導電性ペースト材（『ドータイト』）などを取扱う電子材料部門におきましては、海外市場における価格競争力の低下やパソコン向け市場での需要低迷などの影響により、売上高は減少いたしました。



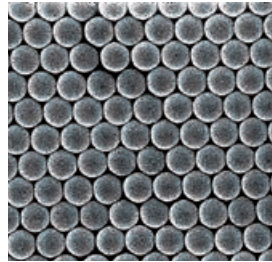
売上高構成比

売上高
29億8千8百万円
(前連結会計年度比10.7%減)

セグメント利益
1億円
(前連結会計年度比10.1%増)



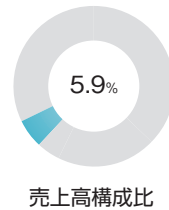
化成品事業



主要分野

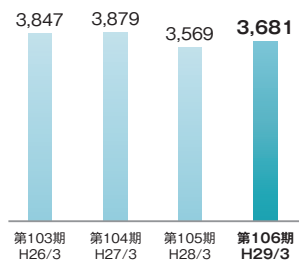
トナー用樹脂分野、
電荷制御剤分野、粘・接着剤分野、
ディスプレイデバイス分野、
メディカル材料分野、
電子部品関連分野

『アクリベース』の商品名で販売する樹脂ベースやトナー用レジ、メディカル材料などを取扱う化成品部門におきましては、トナー用レジの需要は減少いたしました、粘着剤を中心とする樹脂ベースの需要が順調に推移し、売上高は増加いたしました。



売上高
36億8千1百万円
(前連結会計年度比3.1%増)

セグメント利益
2億5千1百万円
(前連結会計年度比64.2%増)



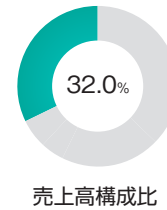
合成樹脂事業



主要分野

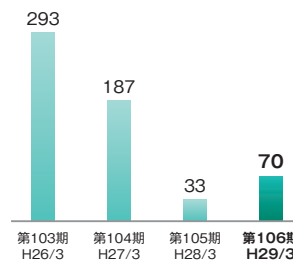
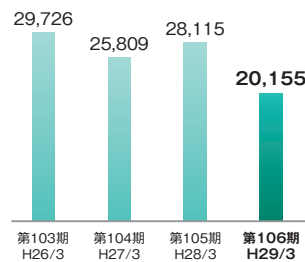
高性能光学材料分野、
工業用銘板分野、
産業資材分野

子会社藤光樹脂株式会社などが取扱うアクリル樹脂の原材料・加工品の販売におきましては、前期まで好調に推移していた海外市場向けの液晶テレビ用途関連製品が、技術革新などに伴って大幅に需要が減少したことなどから、売上高は前年度を大きく下回りました。



売上高
201億5千5百万円
(前連結会計年度比28.3%減)

セグメント利益
7千万円
(前連結会計年度比111.5%増)



会社概要 (平成29年3月31日現在)

会社名 藤倉化成株式会社
本店所在地 東京都板橋区蓮根三丁目20番7号
本社事務所 東京都港区芝公園二丁目6番15号
設立 昭和13年9月22日
資本金 53億5千2百万円
従業員数 連結 1,252名
単体 392名
連結子会社数 国内 4社 海外 15社
ホームページ <http://www.fkkasei.co.jp>

株式の状況 (平成29年3月31日現在)

発行可能株式総数 84,000,000株
発行済株式の総数 32,716,878株
株主数 3,775名

TOPIC

フジクラカセイ タイランド社
本社及び工場を移転いたしました。

FUJIKURA KASEI (THAILAND) CO.,LTD. (フジクラカセイ タイランド社) は、2017年3月タイ国バンコク市内にあった本社及び工場を近隣の都市サムットプラカーン県に移転いたしました。

フジクラカセイタイランド社は、プラスチック用コーティング材のASEAN地域における中心的な役割を担っております。今回設立した新工場は従来の工場と比べ4倍の面積を有しており、生産・供給体制の一層の強化を図っております。

ASEAN地域には、タイ以外にもマレーシア、インドネシア、ベトナムにも現地法人を設立しており、製品の供給体制網を整備することで、お客様のご要望と信頼にお応えしてまいります。

